

平成 30 年度第 4 回人間文化研究機構教育研究評議会 議事概要

○ 日 時： 平成 31 年 3 月 13 日（水） 10：00 ～ 11：38

○ 場 所： 自然科学研究機構及び情報・システム研究機構合同会議室

○ 出席者： 荒木、大塚、岸上、キャンベル、窪田、久留島、酒井、佐藤（信）、佐藤（友）、
田窪、谷川、谷口、西尾、野家、林部、速水、平川、三田村、安成、吉田（憲）、
吉田（和）、劉の各評議員

陪席者： 小泉、二ノ宮の各監事、山本事務局長、大崎機構長特別顧問、磯前日文研研究調整主幹

事務局： 監査室長、歴博、国文研、国語研、日文研、地球研及び民博の各管理部長、本部事
務局の総務課長、企画課長、財務課長、施設課長、その他関係職員

○ 概 要：

議事に先立ち、事務局から、会議の定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認があった。

議 題：

（議事概要）

（1）平成 30 年度第 3 回議事概要について（資料 1）

機構長から、平成 30 年度第 3 回教育研究評議会の議事概要について報告があった。

（審議事項）

（1）平成 31 年度 年度計画（案）について（資料 2）

岸上理事から、資料 2 に基づき、平成 31 年度 年度計画（案）の概要について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、本件に係る今後の取り扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

（2）「人間文化研究機構における評価大綱」の改正及び「人間文化研究機構外部評価委員会規程」の制定について（資料 3）

岸上理事から、資料 3 に基づき、「人間文化研究機構における評価大綱」における評価体制を見直し、内部委員からなる評価委員会が実績報告書の作成等を通して自己点検・評価を実施するとともに、外部委員からなる外部評価委員会が実績報告書等に基づいた外部評価を行う旨の説明があり、審議の結果、了承された。

また、これに伴い、「人間文化研究機構外部評価委員会規程」の制定について説明があり、審議の結果、了承された。なお、同規程に基づく教育研究評議会の外部評議員から選出される外部評価委員会委員には、吉田和彦評議員が選出された。

（報告事項）

（1）総合人間文化研究推進センターにおける実施事業について（資料 4）

窪田理事から、資料 4 に基づき、総合人間文化研究推進センターにおける事業の実施状況について報告があった。

（2）総合情報発信センターにおける実施事業について（資料 5）

佐藤理事から、資料 5 に基づき、総合情報発信センターにおける事業の実施状況について報告があった。

（3）歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業の推進体制等について（資料 6）

佐藤理事から、資料 6 に基づき、歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業の推進体制等について報告があった。

(4) 人間文化研究機構日本研究国際賞の創設について(資料7)

佐藤理事から、資料7に基づき、人間文化研究機構日本研究国際賞の創設について報告があった。

(5) 人文系研究評価システム検討委員会について(資料8)

機構長から、資料8に基づき、人文系研究評価システム検討委員会の設置について報告があった。また、本件に関し、以下の質疑があった。

- ・ 当該委員会で検討を行う人文系研究評価システムについては、社会科学系の評価システムとの連携も見込んでいるのか。
 - 定量的研究成果の多い社会科学系の評価システムが先行しており、すり合わせしながら検討していきたい。

(6) 科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会における審議のまとめについて(資料9)

機構長から、資料9に基づき、科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会における審議のまとめの概要、及びこれを受けて進められている4機構法人と総合研究大学院大学による「連合体」設立準備に係る検討状況について報告があった。

以上